



2026年3月2日

各位

会社名 日本航空株式会社
 代表者 代表取締役社長執行役員 鳥取 三津子
 (コード: 9201 東証プライム市場)
 問合せ先 財務部長 西澤 修英
 (TEL 03-5460-3121 (代表))

2027年3月期通期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ

2027年3月期(2026年4月1日~2027年3月31日)の通期連結業績予想および配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期通期連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

	売上収益	財務・法人所得税前利益 (EBIT)	親会社の所有者に帰属する 当期利益(※1)
今回発表通期予想	百万円 2,095,000	百万円 180,000	百万円 110,000
(参考) 2026年3月期連結業績予想	2,000,000	205,000	123,000

(※1)資本性金融商品所有者の持分控除前

2. 2027年3月期配当予想

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
今回予想	48円00銭	48円00銭	96円00銭
(参考) 2026年3月期実績	46円00銭		
(参考) 2026年3月期予想		50円00銭	96円00銭

3. 業績予想の理由

上表の通り、本日発表した「JAL グループ経営ビジョン 2035」でお示しした事業環境等を踏まえて、2027年3月期通期連結業績予想を算定しましたので、公表いたします。

売上収益については、単価の更なる上昇による国内旅客収入の増加や、力強いインバウンド需要の継続、日本発需要の回復による国際旅客収入の増加を中心として、本日発表した2026年3月期通期連結業績予想より950億円の増加を見込んでおります。

営業費用については、円安や物価高に加え、ベースアップ等の積極的な人財投資により、本日発表した2026年3月期通期連結業績予想より1,090億円の増加を見込んでおります。

以上の結果、2027年3月期通期連結業績予想について、売上収益2兆950億円、EBIT1,800億円、親会社の所有者に帰属する当期利益1,100億円を見込んでおります。

4. 配当予想の理由

当社は、株主の皆さまへの還元を経営の最重要事項のひとつとしてとらえており、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保を確保しつつ、継続的・安定的な配当に加え、自己株式の取得を柔軟に行うことで、株主の皆さまへの還元を積極的に行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、2027年3月期通期連結業績予想は対前年減益ではありますが、その後の利益成長を考慮し、2027年3月期の配当は前年の配当水準から据え置くこととして年間配当予想を1株当たり96円（うち、中間配当予想を1株当たり48円）といたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績等は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上